

# トップのイクボス宣言と育児休業を見越したシフト体制により 育児休業取得率は100%に

interview **No.9** 先進企業紹介  
インタビュー



## 制度を推進した人

社会福祉法人青谷学園

理事長 **白樫忠**さん  
施設長 **小林靖尚**さん  
窓口担当者 **畔岡友香里**さん  
事務局長 **鈴木由里子**さん



## 育児休業を取得した人

社会福祉法人青谷学園  
生活支援員 リーダー

**緒方隼人**さん

● 育児休業取得期間 **1**ヵ月



### Step.1

## 離職率の高さが原因でまずは週休三日制を導入

働きがいや魅力を感じられないとの理由で離職が多い時期があり、何かしら手を打たないと改善が見込めないことから、ブランドカアップのため2017年に週休三日制を導入。1日あたりの労働時間を増やすことで、給与を下げずに休みを確保することができ、その頃から育児休業の取得促進も進めるようになりました。

### Step.2

## トップのイクボス宣言

2020年に理事長と施設長がイクボス宣言し、内外ともに男性育児休業の推進を発信するようになりました。上司から部下への取得推奨や、育児介護相談窓口の担当者が説明会を行うなど、周知に努めました。

### Step.3

## 収入面の不安を解消

1ヵ月程度一緒にいないと子育ての実感が湧かないのではという理由から、最低でも30日間の取得を勧めています。それに合わせて「最大30日間まで賞与の減額はなし」と賞与の規定を見直し、収入面での不安を払拭しました。

## 実践して起きた変化

### 変化1

## トップの宣言により管理職の意識も変化

トップがイクボス宣言したことで、上司が男性職員に育児休業取得を勧めるようになり、自然と取得しやすい空気感が生まれました。2020年には男性の育児休業取得率は100%になり、その後は男女共に全員育児休業を取得しています。

### 変化2

## 育児休業を見越したシフト体制を確立

女性だけでなく、男性もゆくゆくは育児休業を取るであろうことを見越し、あらかじめ採用することで、シフトが回せる状態を作りました。

### 変化3

## 最大7ヵ月取得する職員も誕生

今後は、指導者クラスの副主任の7ヵ月の育児休業取得や年度末に施設長の産後パパ育休も予定しています。産後パパ育休は休業期間中も就労可能な日を設定できるため、繁忙期でも休みが取りやすくなりました。

## 育児によって限られた時間で対応する力がついた

妻が安定期に入ってから、当時の施設長に報告と育休の相談をしました。引き継ぎに関しては、法人本部から渡された書類にどのような仕事を誰に引き継ぐのかを記載した上で、引き継ぎ相手に説明したり、データ化してお知らせするなどして、不在の間をお願いしたいことをおさらいするような形で話しました。育児休業中は、こどもの夜泣きにはじまりいろいろな出来事が起こる中で、限られた時間で先々を考えて対応するという力がつきました。その力や考え方は、職場に復帰して仕事をする上でも役立っています。

## 育児休業を取得した人

社会福祉法人青谷学園  
生活支援員

**徳尾恭佑**さん

● 育児休業取得期間 **1**ヵ月



## 育児休業を通して人に頼り頼られることが必要だと思えるように

育児休業取得を考えたきっかけは職員会議です。施設長から話を聞き、そこで初めて男性の育児休業の必要性を認識しました。妻と相談して1ヵ月取得しましたが、第一子の育児ということ、夫婦共に不慣れで家事も育児も100点満点にするのは難しいので、互いに分担し合い、80点くらいでできるようにバランスを取っていました。仕事をする上ではそれまで人に頼ることが苦手でしたが、育児休業を通して人に頼り頼られることが必要だと思えるようになりました。

## TOPIC

### 子連れ出勤可能な「出産育児支援」

保育所が休みになった時にはこどもを連れて出勤しても良いという仕組みで、職員が交代しながら面倒を見たり、時には休みのパートさんがボランティアで子守をしてくださることも。



## 会社概要

### 社会福祉法人青谷学園

<https://aodani.or.jp/>

- 事業内容 / 社会福祉事業
- 従業員数 / 102名(2023/2/1現在)
- 所在地 / 京都府城陽市中芦原14番地
- 設立 / 1982年3月18日
- 男性の育児休業取得実績 / 5名(100%)

## 今後の展望

健康経営、残業は月15分の働き方改革、DXを推進していますが、変化することを喜び、できることは何でも取り組む姿勢でやっています。従業員の状況に合わせて制度が生まれるような環境で、今後も新しいことに挑戦していく予定です。